

溝口 正人 (みぞくちまさひと)

1960 三重県生まれ。4才から名古屋で育つ
 1984-90 建設会社設計部勤務。東京と大阪で働く。
 1990-93 再び大学院に入る。
 1994- 名古屋大学助手(工学部建築学科)
 1996- 名古屋市立大学芸術工学部～

研究テーマ
 古代中世貴族住宅 ⇨ 平安時代・鎌倉時代の日記を読む
 明治期における設計手法 ⇨ 近代の建物を美測
 中国漢族と少数民族の住まい ⇨ たまに中国の田舎へ出かける
 濃尾地方民家・町家の成立過程 ⇨ ホコリまみれで民家を実測

普段の仕事
文化財建造物の調査・保存
 文部科学省文化審議会専門委員(第2専門調査会)
 愛知県文化財保護審議委員・美濃市・可児市
 近代化遺産: 秋田・鳥取・愛知 / 近代和風: 三重・愛知
伝統的な町並みの調査・保存
 伝建保存審議会委員: 塩尻(奈良井/木曾平澤)・美濃・妻籠・足助
 町並調査: 美濃・美濃太田宿・醒井宿・犬山・足助・有松
その他
 景観: 大垣市景観遺産審議会長・名古屋市広告景観審議会委員
 復元: 名古屋城本丸御殿(名古屋)・新居開所(湖西)・美濃金山城 1

津島の町並は、いつ頃のものが?

大永六年(一五二六)連歌師、宗長の『宗長手記』
 此津、南北美濃尾張と河ひとつに落ちて、みなとのひろさ五、六町、寺々家々数千軒、
 きこゆる西湖ともいふへし

⇒ 中世由来の自然堤防上の町が近世に発展: 別格の古い町



内藤東甫『張州雜志』18c末

町並みの魅力を評価する視点: 津島では?

例えば:

- 重要伝統的建造物群保存地区選定基準(文部省告示第157号、昭50.11.20)
- (一) 伝統的建造物群が全体として**意匠的に優秀**
 e.g. 京都市祇園新橋(茶屋町)・高山市三町(商家町)・豊田市足助(商家町)
 - (二) 伝統的建造物群及び**地割がよく旧態を保持**
 e.g. 仙北市角館(武家町)・塩尻市木曾平沢(漆工町)
 - (三) 伝統的建造物群及びその**周囲の環境が地域的特色が顕著**
 e.g. 南木曾町妻籠宿(宿場町)・白川村荻町(山村集落)・伊根町伊根浦(漁村)

建物(間取り・骨組み・外観)・建ち並び方・周囲の環境



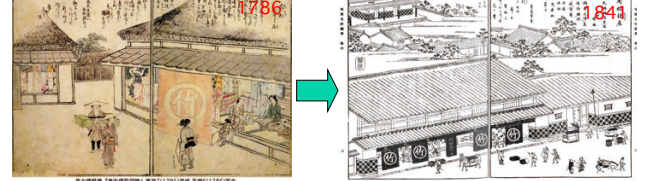
(一) 伝統的建造物群の意匠的な特徴
 街道沿いの主屋: 幕末～明治24～大正昭和



津島の町家: 形態の共通性 ⇒ 平入・2階建てが卓越

建物: 主屋は、いつ頃のものが? 特徴は?

有松: 天明4(1784) 以前の主屋は茅葺き。



津島は早い段階で町家が建ち並んでいた。



藤田家住宅: 明和2(1765)

座敷: 明和7(1761)

建物:主屋は、いつ頃のもの? 特徴は?

平入・2階建て⇒町である証拠です。

伊藤家住宅(名古屋・四間道)



刈谷市城下町地区町家



東照宮祭礼図巻1822



名古屋東照宮祭礼図巻

京町家:通し柱・棟持ち柱・持ち送り下屋庇



道路 庇 室内
公 私
京都の町家の表構え

道路 庇 室内
公 私
江戸の町家の表構え



明治初年の京都祇園の家並み

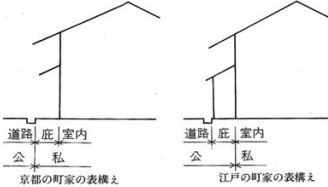


涌波家(金沢市)



長谷川家(三重県松阪市)

尾張東海道の町家:大梁形式と柱建て下屋庇



道路 庇 室内
公 私
京都の町家の表構え

道路 庇 室内
公 私
江戸の町家の表構え



『江戸図屏風』出光本日本橋北詰西側



本町4,西,三養荘



榎屋山口家(小田切春江)

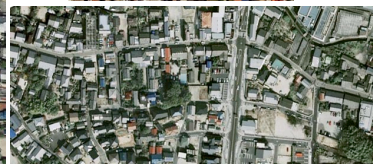
(二) 伝統的建造物群及び地割(屋敷構え)がよく旧態を保持



津島(本町部分)



犬山

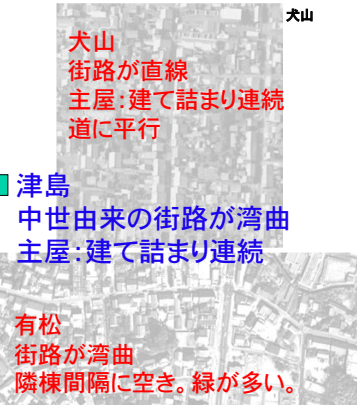


有松 9

(二) 伝統的建造物群及び地割(屋敷構え)がよく旧態を保持



津島(本町部分)



有松 10

犬山
街路が直線
主屋:建て詰まり連続
道に平行

津島
中世由来の街路が湾曲
主屋:建て詰まり連続

有松
街路が湾曲
隣棟間隔に空き。緑が多い。

(二) 伝統的建造物群及び地割(屋敷構え)がよく旧態を保持

稚児門のあるお宅があるのも特徴的



米町西側富永商店

(二) 伝統的建造物群及び地割(屋敷構え)がよく旧態を保持
屋敷尻の土蔵や石垣、細部にも魅力



本町2,北裏通土蔵



屋根神 (本町4丁目山田家住宅) 12

歴史的な町並でのまちづくりは何が重要か?

- 1)住めること(Livability)
都市と建物は使えなければ捨てられる。
- 2)清潔さ(Cleanliness)
汚れていると価値を忘れ、捨てられる。
- 3)見える価値(Visible Value)
物の価値は見えていないと人々は大切にしない。

町並み保存の三原則(前野まさる)

景観的な視点(見た目)=まちの魅力づくり



美濃

13

1)住めること(Livability)

都市と建物は使えなければ捨てられる。

生活の変化に合わせて、変更を認める。
ベストの施策ではなくベターな選択。
現実的、漸進的。長期的視点



妻籠宿家並みの背面



構造補強



生活環境の改善 14

2)清潔さ(Cleanliness)

汚れていると価値を忘れ、捨てられる。



足助 田町 井筒屋:棟札から文化元年(1804)と判明。
痕跡から旧状が判明し外観2階を復原。
骨董屋さん+小物屋=不思議なお店にマッチした外観。

15

3)見える価値(Visible Value)

物の価値は見えていないと人々は大切にしない。

汚れてはダメ
きれいにする。
ポロを着ては、
心は錦にならない。



⇒みんなが気になります。
⇒きれいの相乗効果



美濃

16

町並みの魅力を評価する→町並みはオーケストラ
街道沿いの伝統的建造物(主屋・門・塀) +生活のための新築建物
屋敷構えの構成物(土蔵・付属屋・樹木)



町並における役割に応じた保存と継承・更新のあり方がある。
場所・歴史的な価値・建築的な特徴に応じて考える。

17